

第5回災害対策本部員会議での 主な知事の発言

- 発災2日目の夜に入った。夜間であるものの、人命最優先での対応が必要であり、この本部員会議で情報共有を図り、今後の対応に万全を図る必要がある。
- 21時30分時点で、お亡くなりになった方は計55名となった。発災から30時間以上が経過しており、引き続き、被害状況の把握に努め、救助に全力を挙げてほしい。
- また、国からのパン30,000食については、21時過ぎに珠洲市、能登町、穴水町へ、輪島市についても22時に、トラック協会の協力をいただき、物資の拠点である金沢の産業展示館を出発した。
- なお、当初、輪島へはヘリで輸送予定だったが、天候不良のため、陸路にて輪島市門前支所に向かっている。
- さらに、明日の朝までに、中部ブロックと関西広域連合による支援物資（食料、水、ブルーシート）が、奥能登2市2町以外の9市町に到着予定となった。
- 引き続き、現場のニーズ把握に努め、プッシュ型で、物資の配送、インフラ確保など、最大限の配慮をお願いしたい。
- 外浦沿いで、道路が寸断され、孤立しているところへの支援について、引き続き、優先順位を定め、関係機関が連携しながら、空路、海路など、考えられる手段を総動員し、全力で救助にあたって欲しい。

- 避難所では食料、飲料水、トイレ等が大事であり、生活に支障がないよう、県から派遣の6人のリエゾン、国からのリエゾンを通じて、市町と十分に連絡調整をお願いしたい。支援物資が届いたかどうかの確認もお願いしたい。
- 現地では、既に雨が降っている可能性が高い。土砂災害などによる二次災害の発生に十分警戒するとともに、被災箇所の復旧対応をお願いしたい。
- インフルエンザなどの感染症対策として、マスク、消毒液、石鹸をお願いしたい。
- 仮設住宅への対応向けて、場所などの検討の準備を進めていきたい。